

科目名	経営学基礎論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学部	□ 必修 ■ 選択	
			総合政策学部	□ 必修 ■ 選択	
英文表記	Introduction of Management	開講年次	■ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	いしかわ まさはる	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	石川 雅敏	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	企業経営を理解するために、経営学の基礎的な知識について幅広く学びます。				
到達目標	社会人として求められる企業経営に関する基礎的な知識を修得します。 この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1) 企業経営に関する基礎知識を修得できる。 2) 産業界の経営上の用語を理解できる。				
授業概要	経営学の入門書を用いて経営学に関する基礎知識を幅広く解説します。 1 回の講義において、原則として教科書を 1 章ずつ解説しながら授業を進めます。 ポータルサイトへ掲示したパワーポイントの講義資料を用いて授業を行います。				
授業計画					
第 1 回	イントロダクション、 研究倫理教育				
第 2 回	企業と経営				
第 3 回	企業の目的と経営者の役割				
第 4 回	企業形態と組織の選択				
第 5 回	経営戦略 1				
第 6 回	経営戦略 2				
第 7 回	マーケティング 1				
第 8 回	マーケティング 2				
第 9 回	労働と組織の管理				
第 10 回	経営管理と組織 1				
第 11 回	経営管理と組織 2				
第 12 回	財務諸表を学ぶ				
第 13 回	財務と会計				
第 14 回	企業価値と投資計算				
第 15 回	まとめ				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の 学習	1. 授業前に教科書の該当箇所に必ず目を通す。分からない用語は調べてノートにまとめる。(1 時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やそのほかの経済誌に目を通し、経済の動きに親しむ。(0.5 時間程度)				
履修条件 受講のルール	遅刻は 5 分以内まで。それ以上は出席と認めません。 いかなる理由でも 5 回以上欠席したら期末試験は受けられません。履修取消しです。 毎回質問を出します。必ず出席カードに答えを記入して提出下さい。 私語・スマホは厳禁です。				
テキスト	「入門経営学」(第 3 版) 亀川雅人、鈴木秀一著、新世社 (2011)				
参考文献・資料	講義資料 (Power Point 資料) はポータルサイトに掲載します。 各自でダウンロードして、PC またはタブレットで閲覧しながら、講義を聞いてください。				
成績評価の方法	毎回の質問に対する回答の提出 (50%)、定期試験 (50%)				

	※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週水曜日・金曜日 13:00～15:00 *これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	会社勤務で経験したエピソードや最近の経済トレンドに関する新聞記事を用いて、事業を成功させるための必要条件やビジネス社会で行動していく基礎知識を紹介したいと思います。
学生へのメッセージ	ビジネスは不確実性が伴い、応用が求められますが、それは基礎的知識の理解の上で成り立つものです。ビジネスの基礎を学びましょう。